

成人を祝して

記念講演では、山口市立宮野小学校教諭の中村浩二さん（亀山出身）が、「人」という演題で講義されました。

先生は、学生時代1人で中国のタクラマカン砂漠にわたり、そこで一ヶ月間滞在された経験をもとに、人生の中では「一人との出会い」が大切であると話されました。

人が出会うためにも、まず必要なことは「あいさつ」であると述べられ、さらに、先生は、日置町の自慢できるもののひとつとして、「日置町の人はよくあいさつをされる。これは他に誇れることです。」と語られました。

新成人の皆さんも、年齢の近い方の講演ということもあり、あいさつの重要性について、真剣に聞かれました。先生には、今後の益々の活躍を、心からお祈りいたします。



成人式を迎えて

新成人としての抱負



岡 浩一さん
(古市下)

この度、無事成人式を迎えることができ、大変嬉しく思います。また、地域の人々や親には感謝の気持ちでいっぱいです。

僕は中学校3年生の時この日置に来ましたが、多くの友

達や日置町の皆様のおかげで有意義な生活を送ることができました。

よく、「夢をみることでできる」ということが若者の最強の武器だと言われます。これからは、広い視野で、広い世界を見渡し、今まで教わってきた事をこの目で確かめていこうと思っています。そして自分の道を夢の実現のために前進し続けていこうと思います。



下村美樹さん
(黄波戸)

成人式を迎え、20年という時間の短さを改めて実感しています。

晴れて大人の仲間入りをしたわけですが、気持ちはまだ子供という感が拭えません。今はまだ力不足な面も多く、

両親や周りの人々に助けられることも多々あります。しかし20歳を迎えたこれからは、自分自身の行動に責任と自覚を持ち、今まで支えていただいた沢山の方への感謝と思いやりの気持ちを忘れず、真の大人へ一歩一歩近づいていきたいと思っています。

最後になりましたが、今回の成人式を催してくださった方々、町内の皆様に心より感謝申し上げます。



藤井純子さん
(川原)

この度、たくさんの友達とともに無事、成人式を迎える事ができ、大変嬉しく思います。また、このような式を開いて下さった多くの方々から感謝いたします。

今までを振り返ってみると悲しい時や苦しい時に友人や両親などたくさんの人にいつも支えられ助けられてきました。自分の中にも甘えていた



筑後佳華さん
(古市上)

この度、生まれ育った緑豊かな日置町で、成人式を迎えることができ、大変嬉しく思います。

私は、高校生の延長のような学生生活を送っており、実は、20歳になったものの大人という実感がありません。しかし、今日という日を節目に、20歳の原点として、「尊敬と信頼」をキーワードにし、尊

敬される人・信頼される人となり、また、尊敬できる人信頼できる人に多く出会いたいと思います。貴重な一生であり、色々なことを学び、毎日少しずつ成長する自分でありたいと思います。

